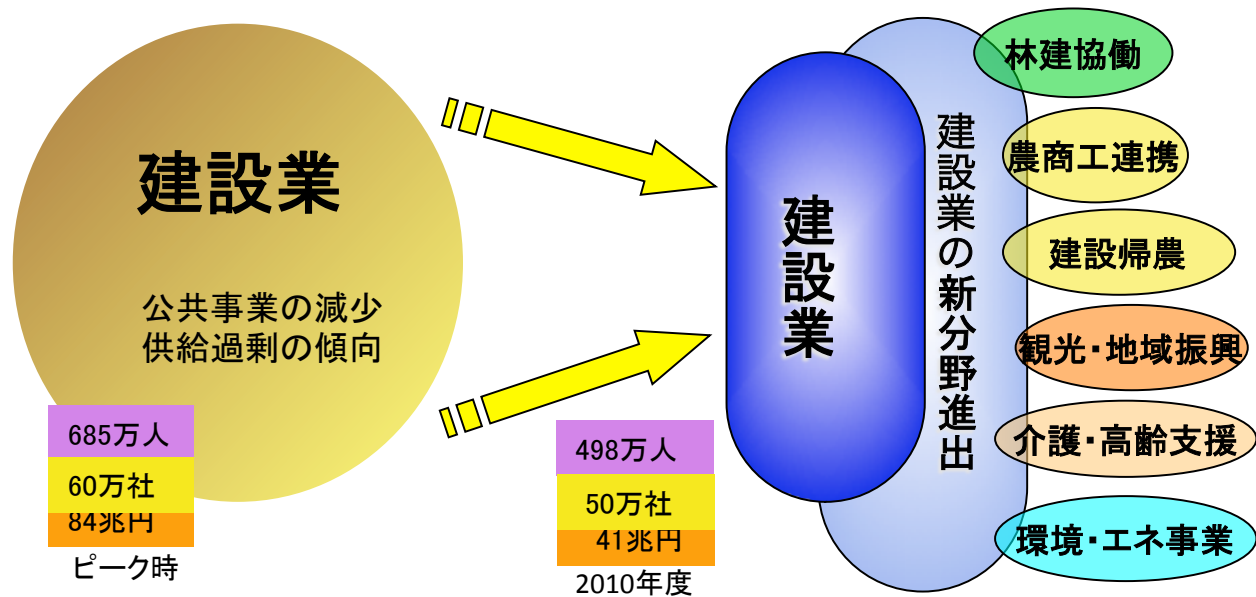


建設トップランナー倶楽部

建設トップランナー倶楽部は、公共事業が減少するなか、夢をもって新事業に挑戦してきた建設経営者の集まりです。H18年に始めた建設トップランナーフォーラムは、H27年の6月30日に10回目を迎えます。全国55社の幹事、600社の参加企業が、日本青年会議所建設部会、地方建設新聞30紙、23道県の建設新事業施策研究会と共に、地域の雇用と社会基盤を守るため、業種の壁をこえて地域産業をおこそうと建設業の複業化を推進してきました。

複業化は複数の本業をもつことです。複数の本業を組み合わせることで相乗効果を生み出します。過疎の進む地域では市場規模が小さく専業での自立は難しいため、複業は地方創生の有効な手段となります。例えば、建設業と農業では、機械を両方で有効活用できるだけでなく、繁忙期のずれを利用して年間の仕事の平準化がはかれます。建設業と林業では、作業道の整備や機械化を建設業が進めることで木材搬出量を増やすと共に、建設業が木材の利用拡大をはかれます。また、地域に住む方々が、業種をこえて協力することは、地域ブランドや地域振興につながります。

過疎の進む地域の最後の雇用の砦として、地域建設業が頑張っています。



- 2001年 構造改革による公共事業の削減→地方の雇用創出の必要性
- 2002年 「建設業の新分野進出」「建設帰農」提唱
- 2003年 「林建協働」提唱、「建設業の新分野進出 - 挑戦する50社」出版
- 2004年 「建設帰農のすすめ」出版
- 2006年 第1回 建設トップランナーフォーラム(日本青年会議所建設部会と共催)
- 2007年 内閣総理大臣 再チャレンジ支援功労者表彰(代表米田雅子)を受賞
- 2008年 「複業による地方産業創出」提言
- 2012年 「大震災からの復旧一知られざる地域建設業の戦い」米田編著 出版
「インフラの町医者」地域防災、インフラ維持、地域雇用創出」提唱
- 2015年 第10回 建設トップランナーフォーラム(6月30日予定)
「地方創生のトップランナー・10年の軌跡」



岐阜県 飛騨地域の林建協働



青森県 橋の町医者



岩手県 大震災時の道路啓開



愛媛県 建設と農業の多能工



宮城県 トマト水耕栽培

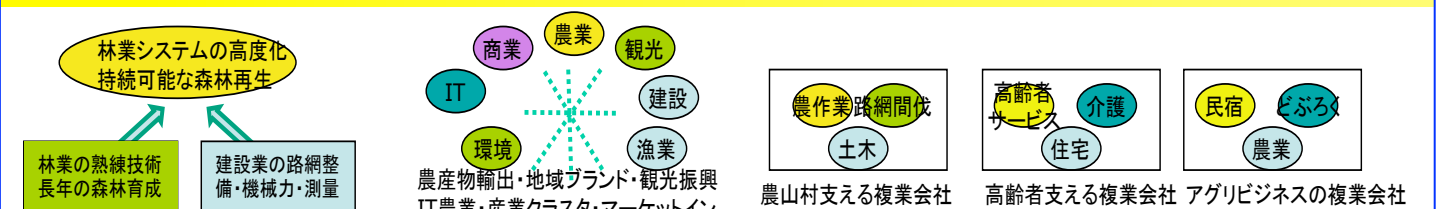
インフラの町医者をめざして

地域建設業は、複業により雇用を創出する地域の総合産業

地域建設業は老朽化する社会インフラを点検し維持する地域の町医者

地域建設業は、災害が多発する日本列島の地域防災の最前線

業種を越えた「複業化」で地方産業創出



林建協働

複数業種の協働による林業改革

農商工連携

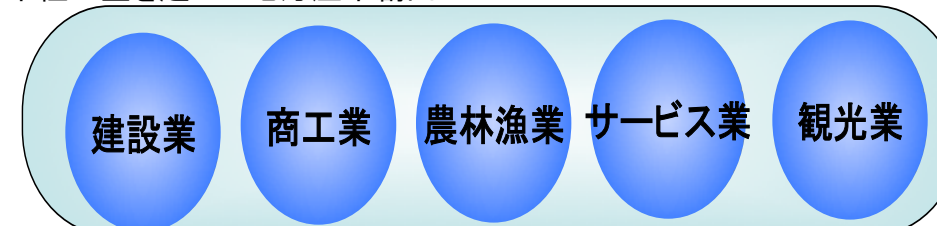
複数業種の連携で農林漁業イノベーション

複業会社

市場の小さな地方では、複数の本業をもつ「複業会社」により地域企業の自立を図る

個人の「兼業」から企業の「複業」へ
生産性向上、通年雇用の実現
異なる業種の相乗効果

業種の壁を越えた地方産業創出



海士にござらっしやい！ まっとっけん！！

(=海士に来てください！まっています！！)

海の士（さむらい）と書いて、海士（あま）と呼びます。



- 島根半島沖から60km
- 隠岐諸島の一つ
- 一島一町の小さな島
- 交通手段は高速船かフェリー
- 所要時間2～3時間
- 冬場は時化て欠航あり

まち

海士町のとりくみ

生き残るための
守りの戦略

徹底的な行財政改革の断行

- 町長・管理職から給与カットの申し出
 - 老人クラブのバス料金値上げの申し出
 - 各補助金の返上の申し出
- 等々

生き残るための
攻めの戦略

地域再生戦略 ～島まるごとブランド化～

- さざえカレー
 - いわがき「春香」
 - 島生まれ島育ち「隠岐牛」
- 等々

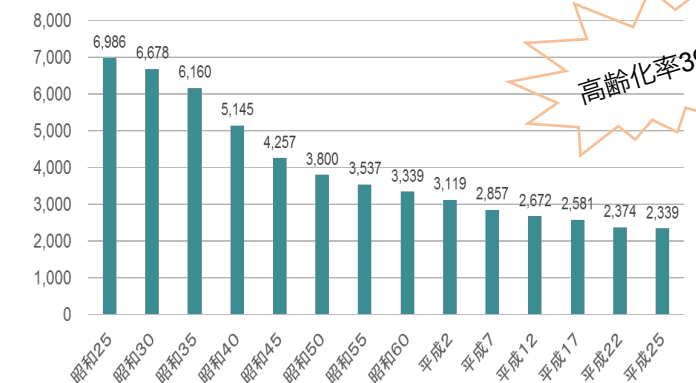


海士町の未来は日本の未来につながっている...

日本の中の海士町という離島
||
世界の中の日本という島国

今、海士町に起こっている問題は、いつか日本の問題となってきます。そんな危機感をもち、私たちは行動しています。

海士町人口の推移



昭和25年には7000人近くいた人口も、平成22年には2300人に減少。

しかしながら、平成16年～平成24年までに437人の1ターン者が海士町に定住！



島をつくる、人をつくる
飯古建設

飯古建設(有)

代表者 田仲 寿夫
設立 昭和52年9月
資本金 3,000万円
従業員 60名
(内漁業従事者8名)

(有)隠岐潮風ファーム

代表者 田仲 寿夫
設立 平成16年1月
資本金 9,800万円
従業員 12名
(内パート4名)



海からのミネラル豊富な牧草が大好き！

しごと

飯古建設のとりくみ

- 経営不振にあえぐ漁業組合から定置網を買い取り、平成8年に定置網事業部を立ち上げ漁業に参入。



- 地方公務税や公共事業が削減される中、このままでは地域がなくなってしまう！との思いから新たに畜産業に参入。



ひと

海士町で頑張っている仲間たち



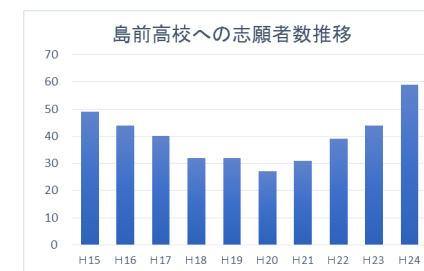
高校存続の危機を救った救世主
-岩本悠さん



1ターン企業家の先駆け
ナマコビジネスを立ち上げた
-宮崎雅也さん



自慢の海で日本一の岩牡蠣を育てる
-大脇安則さん



廃校寸前だった島前3町村唯一の高校。
ここまで生徒が増えました！



いったんは島を離れるが、心も体も大きくなって島に帰ってくる若者たち。



まち・ひと・しごと創生総合戦略
地域と共に生きる
 佐久間建設工業株式会社

会社概要

代表者 佐久間源一郎
 設立 大正8年5月
 資本金 2,000万円
 従業員数 正社員65名 + パート8名
 事業内容 土木建築工事請負・森林関連事業
 所在地 福島県大沼郡三島町早戸字湯ノ平687番地

売上 H23年度 ¥2,158,000,000
 H24年度 ¥970,000,000
 H25年度 ¥1,679,000,000

官民比率 H25年度受注実績中 公共78% 民間22%

佐久間建設工業株式会社 企業グループ

- 早戸温泉つるの湯企業組合
 設立 平成16年3月
 従業員数 正社員15名 + パート11名
 事業内容 温泉浴場業、宿泊施設の経営
- 株式会社奥会津彩の里
 設立 平成18年5月1日
 従業員数 正社員4名 + パート3名
 事業内容 施設型園芸作物・高原野菜の栽培・販売
- 会津桐炭株式会社
 設立 平成23年12月1日
 従業員数 正社員3名
 事業内容 木炭化商品の企画開発・製造販売
- 一般社団法人IORI倶楽部
 設立 平成25年7月18日
 会員数 34社 専従職員 3名
 事業内容 建築および地域づくりに関するサービス等の企画開発や導入に関するコンサルティング

只見川流域は
 全国でも有数の豪雪地帯
 地域の約9割が山間部

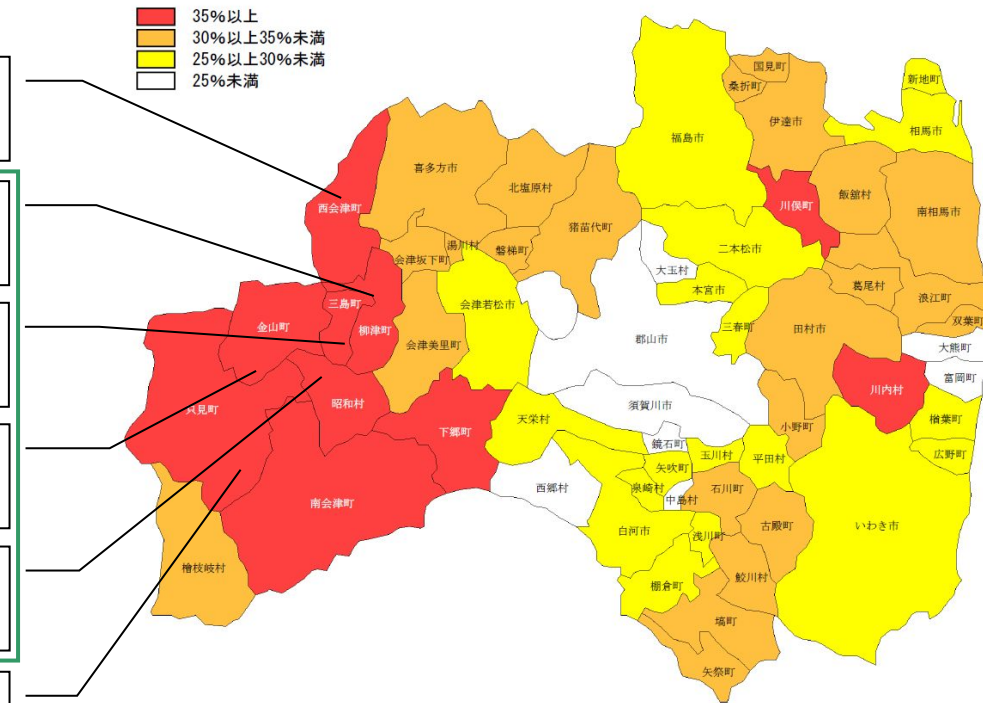
高齢化率は県内は元より
 全国でもトップレベル

教育機関が少なく高校進
 学時から域外に転出
 若年人口が極端に少ない

労働人口の減少に歯止め
 をかけるのがこの地域の
 ミッションであり、関係者
 が連携しながら、**地域と共に
 生きる可能性を模索**

(只見川流域の6町村)

西会津町	人口：6708人 高齢化率：43.0% 県下5位 全国73位
柳津町	人口：3898人 高齢化率：38.1% 県下6位 全国164位
三島町 (佐久間建設工業の所在地)	人口：1889人 高齢化率：47.9% 県下3位 全国18位
金山町	人口：2407人 高齢化率：55.6% 県下1位 全国2位
昭和村	人口：1484人 高齢化率：53.5% 県下2位 全国5位
只見町	人口：4562人 高齢化率：43.9% 県下4位 全国70位



H26年8月現在の市町村別高齢化率 福島県企画調整部統計課資料より

※(全国1,957地域中)

三島町の生産年齢人口880人の10%に匹敵する90名を正社員としてグループ企業内で雇用

平成26年3月 経済産業省「がんばる中小企業・小規模事業者300社」に選定される

奥会津4町村の建設会社が
 加盟する宮下地区建設業協
 同組合による共同受注
**中山間地域道路等維持補修
 業務委託**



豪雨・豪雪時に力を発揮

50年生の杉の立木、約1万
 本分を使用した、杉板倉の木
 造応急仮設住宅を建設
 いわき市 76棟162世帯
 会津若松市 17棟36世帯



仮設から復興公営住宅へ

H21年に森林事業部を設立
 立木の買取、伐採、搬出、製
 材、乾燥、加工、販売を一貫
 して行う。本物の木を体感し
 てもら見学会の企画運営



桁の木の实態調査を継続

会津地域で森林資源および
 木材活用に関連する、有志の
 専門業者34社が集まり、
 連携して事業の研究推進を
 図っているIORI倶楽部



H27年過疎地表彰に推薦

地域貢献の取り組み
 大学への学びの場を提供
 アーティストに活動の場を
 提供/空き家の再生を企業
 のCSRの場に



大学との連携は7年目に



まち・ひと・しごと創生総合戦略

複業で地域を支える

幌村建設株式会社

□会社概要

会社名:幌村建設株式会社
 代表者:代表取締役 幌村 司
 住所:北海道日高郡新ひだか町三石蓬栄126番地
 資本金:9,800万円
 従業員:67名(正社員40名 季節雇用27名)
 設立:昭和32年11月(幌村組として発足)
 社是:「誠実」
 受注先:北海道開発局、北海道庁、各市町村
 ※ISO9001、ISO14001、OHSAS18001 認証取得



売上高	延べ雇用人数
平成12年 ¥3,003,000,000	11,960人
平成18年 ¥1,910,000,000	12,740人
平成25年 ¥1,595,000,000	10,400人

□幌村グループ 関連会社

会社名:株式会社ファームホロ
 住所:北海道日高郡新ひだか町三石蓬栄131番地
 創業:平成17年7月1日(創業当時は花卉栽培)
 農業者:5名(内1名は代表者 幌村 司)
 雇用者:正社員5名 パート7人

売上高	延べ雇用人数
平成22年 ¥34,550,000	3,677人
平成25年 ¥19,890,000	2,913人



会社名:(有)みつしい環境サービス
 代表者:幌村 司
 資本金:400万円
 従業員:正社員22名(内女性18名) パート 17名
 設立:平成14年(町内の建設業者12社構成員)
 主な仕事:「海浜公園オートキャンプ場」
 「ふれあいビーチ」「道の駅みつしい」
 などの管理清掃業務

売上高	延べ雇用人数
平成22年 ¥42,160,000	10,615人
平成25年 ¥55,050,000	11,375人



□新ひだか町概要



日高支庁管内図

旧三石町の人口推移	内65歳以上	高齢化率
平成12年 人口 5,313人	1,480人	27.9%
平成18年 人口 4,957人	1,546人	31.2%
平成26年 人口 4,220人	1,553人	36.8%

北海道日高郡新ひだか町
 ※2006年3月31日 旧静内町と旧三石町が合併
 ○総面積:1,147平方キロメートル
 ○森林率:82.9%(内67.7% 国有林)
 ○総人口:25,419人(全道市町村28番目)
 ○世帯数:11,008戸(全道市町村27番目)
 ○平均気温:7.9℃



町木「エゾヤマサクラ」



町花「ハマナス」



馬産地(ウォッカ)

平成12年～平成26年
人口減少数 1,093人

□各社の取組

株式会社ファームホロ

●アスパラガス部門



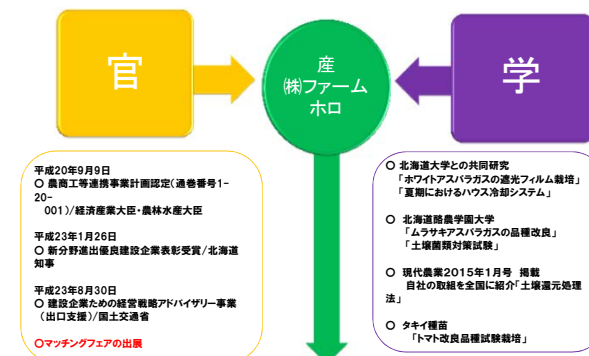
●トマト部門



●花卉部門

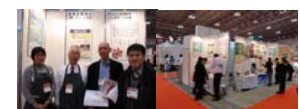


●コラボレーション(産学官連携)



○新たな価値の創生
 「マッチングフェア等に参画させて頂き、新しい販路の拡大」
 「高品質アスパラガスや高糖度トマトなどの高度技術確立」

●マッチングフェア



「FOODEX JAPAN 2013 出展」



「農工商連携”宝さがし”in北海道 出展」

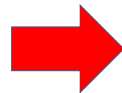


「第3回 小学館 大学は美味しい!!フェア 出展」

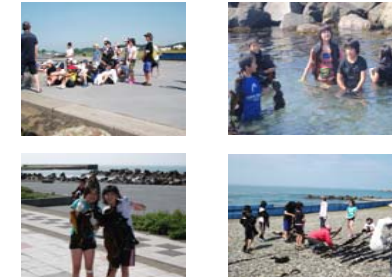
有限会社みつしい環境サービス



三石海浜公園整備



夏は観光地で賑わう!



ふれあいビーチ漁業体験(昆布拾い)



幌村グループ ボランティア



農業用排水路 補修作業



ぶどう狩り体験



三石中学校 楽器寄付



小中学校グランド転圧

まとめ





和仁グループの経営理念：地域に愛され頼りにされる企業 『目指すは田舎の町医者』

[田舎地域の現状]

《 高山市上宝町の農業の現状 》 ※平成22年現在

- ・農家戸数 410戸 ・認定農業者 20人
- ・農業従事者の高齢化率 65歳以上 81%
- ・耕地面積 田 241ha 畑 74ha

《 高山市上宝町見座の未来予想 》

※見座町内は近隣地域の中でも若者や子供が比較的多い町内である。

- ・20年前～平成8年 1996年～
(平均年齢 42歳 世帯数 41世帯 人口140名)
- ・10年前～平成18年 2006年～
(平均年齢 48歳 世帯数 41世帯 人口150名)
- ・現在～平成27年 2015年～
(平均年齢 56歳 世帯数 36世帯 人口113名)
- ・10年後～平成37年 2025年～
(平均年齢 65歳 世帯数 31世帯 人口 81名 72%)
- ・20年後～平成47年 2035年～
(平均年齢 ××歳 世帯数 23世帯 人口 59名 52%)

[和仁グループの目指す田舎の姿]

- ・上宝町を『地方版総合戦略』の【小さな拠点】に位置づけて整備する
- ・河岸段丘が美しい日本一整備された田舎【小さな拠点】を作る
- ・和仁グループが地域内で中心的な役割を担う事業主体を目指す
- ・空き家の有効活用として都会からの移住者、特に子育て世代の義務教育を田舎での実現を目指す

[和仁グループの具体的な行動]

- ・作物はブランド米と飼料用稲(WCS)の作付(H30年 40ha)
- ・農業のICTの利活用(管理ソフト H28年 無人化施工H30年)
- ・獣害対策の徹底 特にイノシシの戦略的な個体管理
 - ・和仁農園の駆除対策チームを確立(H27年度)
 - ・駆除対策チームの指定管理契約(H28年度)
- ・林業は間伐、除伐、搬出道路の整備(H27年～H37年)
- ・不要木による木質バイオマス発電(2kw未満)の稼働(H30年)
- ・米・食味分析鑑定コンクール：国際大会の高山市開催(H30年)
- ・子育て可能な適正給与の実現と義務教育期間の専業主婦の実現
- ・都会からの移住者に対する総合的な指導、支援

[和仁グループの事業内容]

1. 和仁建設 株式会社 — 総合建設業
2. 株式会社 和仁農園 — 農業生産法人
3. 有限会社 奥飛騨新鮮村 — 農産物加工・販売
4. 有限会社 奥飛騨エコセンター — 有機堆肥製造・販売
有機系一般廃棄物、産業廃棄物処分業

1. 和仁建設 株式会社 概要

《 会社概要 》

会社名：和仁建設株式会社
 代表者：代表取締役 和仁 剛
 住 所：岐阜県高山市上宝町見座200番地
 資本金：2,000万円
 従業員：25名(正社員18名 臨時社員7名)
 設 立：昭和30年3月
 売 上：平成13年度 870,000千円
 平成20年度 570,000千円
 平成26年度 440,000千円

《 事業概要 》

- ・総合建設業(売 上：公共事業 60% 民間事業 40%)
- ・ドライブイン『カフェレストウインディー』
- ・Yショップ上宝店『Yショップ上宝店』
- ・土石の採取・販売
- ・重機・重量物運搬
- ・燃料販売スタンド
- ・受託業務(雪下ろし等)

日本一きれいな河岸段丘



和仁グループ本社



2. 株式会社 和仁農園 概要

《 会社概要 》

会社名：株式会社 和仁農園
 代表者：代表取締役 和仁松男
 住 所：岐阜県高山市上宝町見座200番地
 資本金：1,200万円
 従業員：10名(正社員6名 臨時社員4名)
 設 立：平成21年2月 認定農業者：平成22年4月

《 事業概要 ① 》

- ・水稲作付(平成26年度)合計27ha
主食用米17.8ha(地権者74名 水田170枚)
飼料用稲(WCS)8.7ha(地権者46名 水田65枚)
- ・有機無農薬野菜50a
- ・水稲の受託業務 7.0ha(依頼者38名 水田48枚)

《 事業概要 ② 》

- ～ 福利厚生の実施及び労働災害の防止 ～
- ・パン工房ゆう(米粉商品の製造販売)
- ・がたん茶屋(商品のテイクアウト専門店)
- ・耕作放棄地の再生および維持管理業務
- ・ぎふの恵みの里山林整備事業
- ・獣害対策チームの立ち上げ(いのししの個体管理)
- ・飛騨高山おいしいお米プロジェクトの実施
- ・研究開発
稲作作業総合管理ソフトの開発(らくかる管理人)
トラクター作業やWCS直播の無人化施工



[和仁農園が取り組む耕作放棄地の再生事業]

- ・高山市の補助制度
＜平成22年度105a 飼料用稲(WCS)作付＞
見積金額3,566千円 補助額2,826千円(79.3%)
269,000円/10a
- ・実際の原価～岐阜県内5カ所 モデルケースとして実証試験実施～
実証試験結果 水稲作付の場合
266,000円/10a



[和仁農園の表彰履歴]

- ★平成23年度 第3回耕作放棄地発生防止解消活動表彰事業
株式会社和仁農園『農村振興局長賞』受賞
- ★平成24年度
第14回食味分析鑑定コンクール：国際大会
和仁農園代表 和仁松男『名稲会会員ダイヤモンド褒賞』受賞
- ★米・食味分析鑑定コンクール：国際大会への出展

・平成19年度 第9回食味分析鑑定コンクール：全国大会

品 種	合計値	食味値	味度値	受賞内容
コシヒカリ(黄金の煌き)	180	86	94	総合金賞

・平成20年度 第10回食味分析鑑定コンクール：国際大会

品 種	合計値	食味値	味度値	受賞内容
コシヒカリ(黄金の煌き)	179	89	90	総合金賞

・平成21年度 特別優秀賞 3点入賞

・平成22年度 第12回食味分析鑑定コンクール：国際大会

品 種	合計値	食味値	味度値	受賞内容
ミルクQueen(乙女ごころ)	175	87	87.5	総合金賞

・平成23年度 第13回食味分析鑑定コンクール：国際大会

品 種	合計値	食味値	味度値	受賞内容
ミルクQueen(乙女ごころ)	181.1	89	92.1	総合金賞



介護・医療への事業展開

一複業ノウハウ活用して本業受注も一



鳥取県米子市昭和町25
美保テクノス株式会社
代表取締役社長 野津 一成

1. 美保テクノス株式会社の概要

代表取締役社長 野津 一成
創業年 昭和33年7月
役員員数 152名
資本金 1億円
H26年度売上 8,356百万円



事業内容
建築工事一式、土木工事一式、
地盤改良工事、舗装工事、
太陽光発電システム販売、
医療・介護施設の運営・企画・
設計・施工

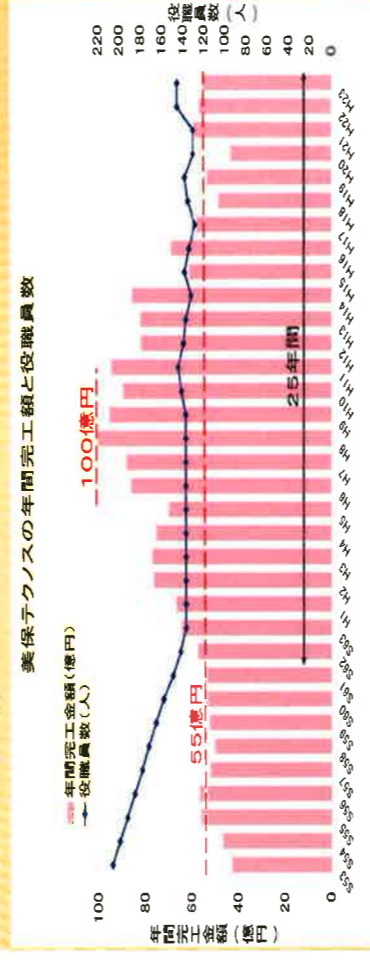
鳥取県の人口 約57万人
米子市の人口 約15万人

2. 不況に負けない会社づくり...売上と雇用の維持

創業年	会社名	業種	役員員数	平成26年売上(百万円)
昭和33年	美保テクノス(株)	総合建設業	152	8,356
昭和44年	美保開発企業(株)	不動産	1	55
昭和51年	テクノ技術工務(株)	建設工務(外)	114	1,013
昭和63年	テクノ・エム・エス	重機、仮設資材	71	1,630
平成2年	美保エリート(株)	不動産	6	272
平成2年*	美保テクノス(株)	給食事業	39	123
平成5年	テクノリンクス	総合建設業	13	449
平成9年	テクノベック	情報(IT)	10	140
平成10年*	テクノニクス	建設資材製造販売	35	750
平成11年	テクノ・ビズ	介護サービス	30	243
平成14年	テクノミック	管工事、舗装	39	971
平成14年	テクノ・エム・エス	介護サービス	70	211
平成16年	テクノ根テクノニカ	土木工事	4	74
平成22年*	大山電気(株)	電気工事	5	88
		合計	589	15,381

3. 介護事業着手のきっかけ

公共工事削減、地方経済の悪化等で予想される売上減少に対し、分社、M&A、新規事業等、時代の動きに敏感な経営でグループ会社を創設し、売上と雇用の維持してきた。
その一環としての介護事業着手であった。
因みに、本業売上は25年前と変わらない。



4. 介護・医療への事業展開

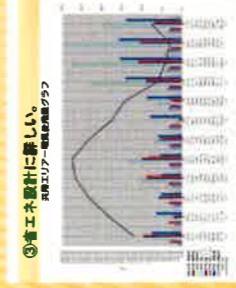


平成14年度高価賃貸住宅(27室) 平成15年度有料老人ホーム(20室) 平成15年度19床診療所建費

平成18年度小規模多機能施設 平成23年度有料老人ホーム(50室) 平成25年度サ高住建費(63室)
～地域の要介護高齢者に介護サービスと施設を提供～
介護、給食事業 平成26年度売上 577百万円 役員員139名

5. 介護事業を本業受注に繋げる工夫

- ①省工ネ助成金 ②サ高住助成金
- ③土地斡旋 ④BIM
- ⑤標準図に介護ノウハウを集積
- ⑥お客様ノウハウの流出保護で特命受注
- ⑦厚生労働省の医療・介護政策の先取り



①省工ネ助成金/電気使用量検証 ④BIM/可視化、問題の事前解決 ⑦厚労省/今後の看取りの場所推定

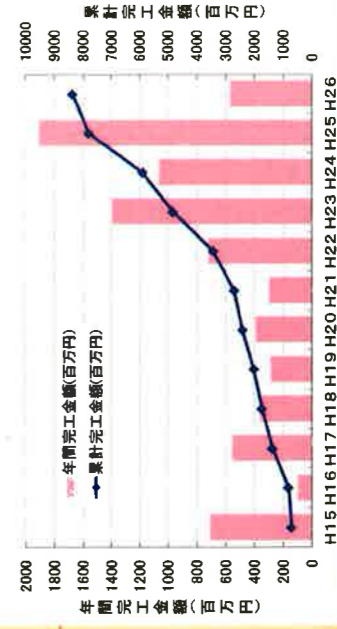
6. 医療・介護施設の設計・施工受注成果



平成19年度米子市 有料老人ホーム(40室) 平成20年度境港市 有料老人ホーム(40室) 平成22年度芦屋市(設計監理) 有料老人ホーム(47室)

平成23年度松江市 介護付高齢者向け住宅(52室) 平成23年度湯梨浜町 介護付高齢者向け住宅(28室) 平成24年度出雲市 介護付高齢者向け住宅(70室)

介護・医療施設の設計・施工工事実績



平成15年～26年(12年間)の医療・介護施設設計・施工工事実績
介護施設35件、診療所11件、薬局6件 合計8.4億円

7. 今後の課題と事業展開

- ①自社介護事業の維持・改善
- ②利用者層別施設提案による特命受注強化
- ③関西・山陽への施工受注の営業展開